

# ***Ice Fishing Shelter Auto***

## **取扱い・組立て説明書**



**この取扱い説明書は大切に保管してください。**

この度はアイスフィッシングシェルターオートをお買い上げいただき誠に有難うございました。

シェルター設営の際はできるだけ平らな場所を選んでください。

また、石や木の枝等、シェルターを傷つけるおそれのあるものは、あらかじめ取り除いてから設営してください。

# 組立・使用上の注意及び禁止事項



## 危険

この警告を無視して誤った組み立て方や使い方をすると、人が死亡、または重傷を負う事故が想定される内容を表しています。

- シェルター内での火気の使用は、一酸化炭素中毒等、大変危険で生命をおびやかす恐れがありますので絶対にやめください。また火災等の原因となりますので、火気から離れたところに設置してください。
- 台風、暴風雨、落雷等の異常気象の際は危険ですのでシェルターの使用はお避けください。
- 河原の中洲や崖下などの増水、落石の危険のある場所でシェルターを設置しないでください。



## 注意

この注意を無視して誤った組み立て方や使い方をすると、事故やケガといった人的傷害、又は物的傷害の発生が想定される内容を表しています。

- お出かけの前に全ての部品が揃っているか確認してください。
- 無理な設置はボールの破損や本体破れの原因となります。
- シェルターの設置の際はグローブを着用してください。
- フレームを伸ばす際は指を挟まないように注意してください。
- ベグを打つ際にハンマーで指を打たないように注意してください。
- 小さいお子様に組み立てやベグ打ちの作業をさせないでください。
- 風が強い時はテント、シェルターの設置を行わないでください。本体が飛ばされて思わぬ事故やフレーム折れ、本体破損の原因となります。
- シェルター設置の際はできるだけ平らな場所を選んでください。また、風の影響を受けにくい場所を選んでください。
- 石や木の枝等、テント、タープを傷つける恐れのあるものはあらかじめ取り除き、整地してから設置してください。
- シェルター本体はベグとロープで確実に地面に固定してください。風で飛ばされたり思わぬ事故につながる場合があります。
- シェルターを設置する場所によっては付属のベグが使用できない場合があります。あらかじめ設置場所の状態を確認しておいてください。
- シェルターから長時間離れる場合は必ず撤収してください。急な天候の変化、突風などにより、シェルターが飛ばされて思わぬ事故の原因となります。
- 寒冷地仕様のため、縫製ラインにはシームテープ加工はされていません。雨の日に使用した場合は雨水が漏れる可能性があります。
- 結露について  
シェルターの生地には防水加工が施されていますので、外気との湿度差が大きいと生地の内側の壁面に水滴がつくことがあります。これは水漏れではありません。シェルター内の換気を行うことで改善することができます。

# 収納・管理の注意



## 注意

この注意を無視して誤った組み立て方や使い方をすると、事故やケガといった人的傷害、又は物的傷害の発生が想定される内容を表しています。

- 使用後は汚れを落とし、十分に乾かしてから収納、保管してください。濡れたままの状態での収納しますと、色移りやカビ発生の原因となります。
- 撤収時、雨などで本体を乾かせない場合は、持ち帰ったあとできるだけ早く乾燥させてください。そのまま放置しますと色移りやカビ発生の原因となります。
- 汚れを落とす場合は、固く絞った布で拭き取りよく乾燥してから保管してください。
- シンナー、ベンジンなどの有機溶剤の使用は、色落ち、変色およびプリントや樹脂加工の剥がれの原因となります。
- ボール本体に付いた砂や土はきれいに拭き取ってから収納してください。また、濡れたまま収納しますと腐食の原因となります。
- 本体、収納ケースは洗濯しないでください。
- 幼児、子供の手の届かない場所に保管してください。

# 各部の名称・セット内容

セット内容 お出掛けになる前に一度、パーツ等の不足がないかご確認ください。

●本体（フレーム含まず）1張 ●自在ロープ 6本 ●アイスベグ 12本

## 【設置時】

ベンチレーションカバーを外した状態



インナースカート



ルーフフレーム部  
(6本)

センターハブとベンチレーションカバー

ベンチレーション(3ヶ所)

第1ジョイント(6ヶ所)

ジョイントカバー



アウトースカート

ドア(3ヶ所)

第2ジョイント(6ヶ所)

自在ロープ(6本)

## 設 営 手 順

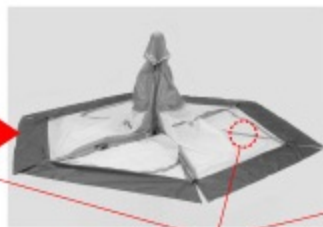
### STEP 1

シェルターをキャリーバッグから取り出し下のように広げ、第2ジョイント(6ヶ所)を伸ばし広げます。ジョイントは確実に伸ばしてください。(図1)

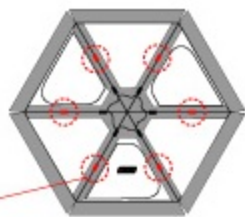
次にすべてのジョイントカバー(第1ジョイント6ヶ所、第2ジョイント6ヶ所)を外します。(図2)



図1



第2ジョイント



【ジョイントカバーを外す】



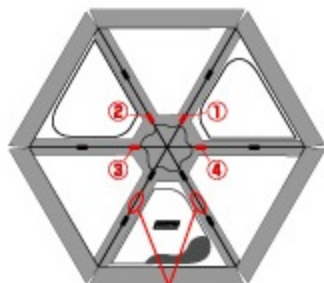
図2

**STEP 2** ドア(1ヶ所)を開けてドア部のルーフレーム2本を持ち(図示した握る位置)、奥の第1ジョイントから伸ばしていきます。

**⚠ 注意** 第2ジョイント部がしっかり伸びているのを確認してから行ってください。



ドア部のルーフレーム2本を持ちます。



握る位置



①と②の第1ジョイントを伸ばします。

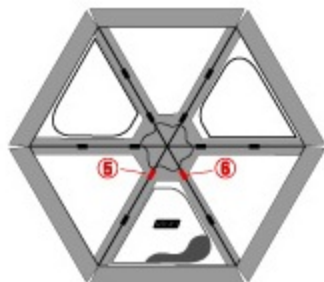


次に③と④の第1ジョイントを伸ばします。



### STEP 3

最後に⑤と⑥の第1ジョイントを伸ばしてやれば自動的にテンションがかかり本体が立ち上がります。ジョイントカバー（第1ジョイント6ヶ所、第2ジョイント6ヶ所）を付けます。



**注意**

外気温が低い場所ではシリンダー内部のガス体積が変化するため、フレームが自動で完全に開ききらない場合があります。その場合には手でフレームを広げてください。

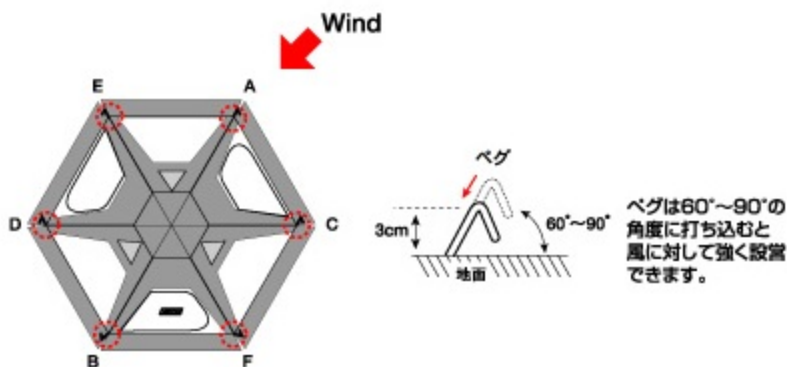
【手で広げる場合】

下記のようにハブに近いフレーム2本を下方向へ押します。



※写真はわかりやすいようにカバーを外しています。

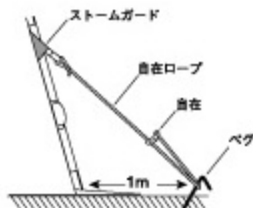
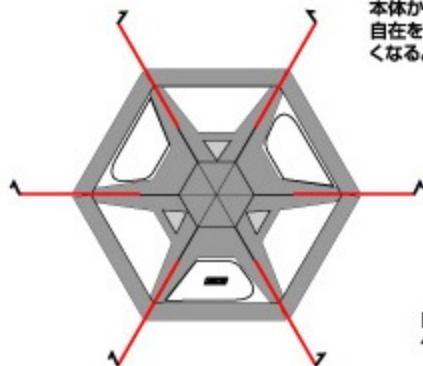
**STEP 4** シェルターの設営位置を決め、図のように6ヶ所のループを風上より順に(A~F)対角線にペグ打ちしてシェルターを固定してください。



**STEP 5** ストームガードに自在ロープ(6本)を取り付けペグで固定します。アウタースカート、インナースカートを広げて完成です。

**注意** シェルターを固定するために必ず自在ロープを使用してください。

本体から約1m離れた位置にペグ打ちして固定します。自在をしめあげて、フレームが前後左右に大きく動かなくなるよう調節してください。



自在ロープの端をストームガードに結び、ペグを打ち、ロープをかけて自在をしめあげます。

**One Point!**

アウタースカート、インナースカートに雪を載せると、ウエイトの代わりになり、更に固定できます。

# 撤収手順

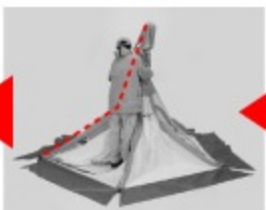
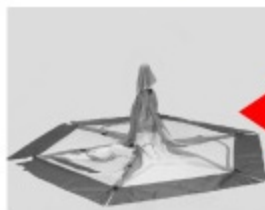
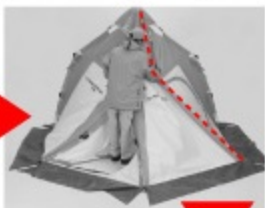
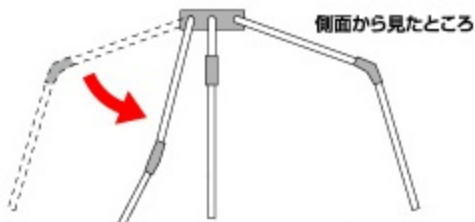
**STEP 1** ロープ及びベグをすべて取り外します。

**STEP 2** ドア1ヶ所を開けドア上のルーフフレーム2本を合せるように寄せていき、更に奥へ押していきます。2ヶ所の第1ジョイントが折れ曲がります。順に他の第1ジョイント(4ヶ所)を折っていきます。

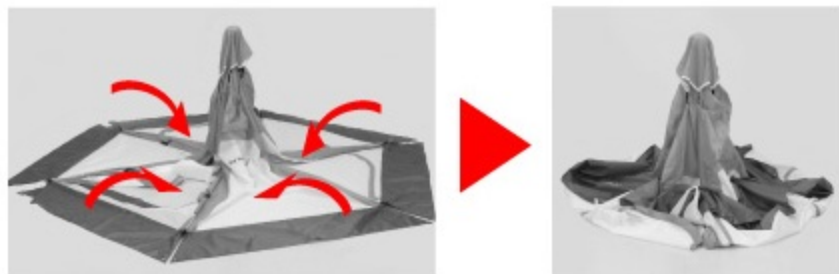


## ⚠ 注意

ルーフフレームの握る位置は第1ジョイントより少し上を持ってください。



**STEP 3** 第2ジョイント部(6ヶ所)を手前に引いてロックを外し、6本のフレームを折り曲げます。



第2ジョイントはロックを外してから折り曲げる



**STEP 4** 最後にキャリーバッグに入れて撤収完了です。

コールマン ジャパン株式会社

お問い合わせフリーコール

コールマンカスタマーサービス：0120-111-957

受付時間：月曜日～金曜日（祝祭日を除く）10:00～17:30